



What IS IT?

ISIT: Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

編集 ISIT 総務広報部 龍 督茂

INDEX

今号の主な内容

- ISIT 設立 20 周年記念セミナー特集 P1~P4
- ジョイントセミナー開催 P5
- 各種セミナー開催 P5
- ご来訪の皆様 P6
- 賛助会員《法人》ご紹介 P6

公益財団法人九州先端科学技術研究所 設立20周年記念セミナーを開催

平成27年11月5日



平成27年11月5日、福岡市早良区の福岡SRPセンタービルSRPホールにて、公益財団法人九州先端科学技術研究所設立20周年記念セミナーを開催致しました。本セミナーはISITが毎年行っている市民講座も兼ねています。

当日は、141名、講演者等も含めると150名を超える方々が参加され、会場のSRPホールが一杯となるほどの盛況でした。ご参加くださいました皆様、誠にありがとうございました。

当日は来賓として、福岡市 高島市長、九州大学 久保総長、理化学研究所 松本理事が参加され、ISIT 貫理事長の挨拶に続き、来賓のご挨拶を頂きました。



開会前の会場の様子



福岡市 高島市長



九州大学 久保総長



理化学研究所 松本理事

1. ISIT 新海研究所長 「ISITのこれまでの活動・今後の展開について」

来賓挨拶に続き、ISIT 新海研究所長がISITの基本理念を基にISITのこれからのビジョンを語りました。この中で、研究所長はISITは設立当初より、福岡市、九州大学、及び地元産業界の連携がうまく機能し、基本理念は今に生きていることを強調しました。

ISIT 基本理念

アジア太平洋を中心とした国際的な産学官の協調の下で、システム情報技術をはじめとして、ナノテクノロジーなどの先端技術並びに関連する科学技術分野に関する研究開発、内外関係機関との交流及び協力、コンサルティング、情報収集及び提供、人材育成等を行うことにより、地域の関連企業の技術力・研究開発力の向上及びシステム情報技術等の発展と新文化の創造を図り、もって九州地域におけるシステム情報技術をはじめ先端科学技術等に係わる産業の新興と経済社会の発展に資する。

その後、ISIT及び福岡SRP地区の生立ちから活動内容の紹介、福岡市産学連携交流センター（FiaS）設立の経緯・運営に当たったの工夫等を紹介しました。また当日配布した「ISIT設立20周年記念誌」の中の池上研究顧問からのメッセージを引用し、福岡は産学連携がうまく機能している特異な地域であるが、そのことを当事者があまり意識していない、ことなどを紹介しました。今後の展開については、福岡市の新VISION「アジアのリーダー都市ふくおか!プロジェクト!」の策定時に研究所長が提言した4次産業化への移行へのビジョンを紹介しました。この4次産業化への移行を見据えた行動プランに基づき策定されたISITビジョン（注1）を実現するため以下の具体的な4つの動き・取組を紹介しました。1. ISIT発のベンチャー、2. 材料サイエンスのインフラ整備、3. 法人の連携で活力を、4. 研究組織との連携で新しい風を、の4つです。

新海研究所長の講演の内容につきましては、<http://www.isit.or.jp/about/publication/>にアップロードしています（トップページ ISITについて 広報・活動報告「ISITのこれまでの活動・今後の展開について」）。

2. 研究開発表彰

続く研究開発表彰では、3社2名が表彰されました。

本研究開発表彰は、ISIT設立20周年を記念して、情報通信分野、ナノテク分野の先端科学技術により、地域の産業の発展に寄与した企業、若手・中堅研究者を表彰するものです。表彰者及び内容は以下の通りです。

表彰区分	受賞者（敬称略、順不同）
情報通信分野(IT)賞	株式会社システム・ジェイディー 「太陽電池アレイテスター『SOKODES』の開発」
	株式会社ロジカルプロダクト 「9軸ワイヤレスモーションセンサの開発」
ナノテクノロジー分野(NT)賞	内田孝紀（九州大学 応用力学研究所 准教授） 「数値風況予測システム『RIAM-COMPACT®（リアムコンパクト）』の開発」
	株式会社Kyulux 「次世代有機EL材料『TADF（熱活性化型遅延蛍光材料）』の開発」
	藤川茂紀（九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 准教授） 「精密ナノコーティングによる『大面積薄膜構造（ナノ膜）』の研究・開発」



左より
ISIT 新海研究所長、
(株)システム・ジェイディー 伊達取締役会長、
(株)ロジカルプロダクト 代表取締役社長、内田氏、
(株)Kyulux 安達CTO、藤川氏、
ISIT 貫理事長

ISITのあるべき姿 ISITビジョン(Vision)

ISITはオリジナリティの高い研究成果と多様な組織・個人との共創により新たな価値を創造し、持続可能な社会の実現を目指します。

新海プラン2015

1. ISITは価値創造に繋がる持続的イノベーションに向けて、IT/NT関連分野におけるオリジナリティの高い研究およびその産業界への橋渡しに注力します。
2. ISITは広く学界、産業界に対してオープンサイエンスのための場を提供します。
3. ISITはオープンイノベーションに取組む風土を醸成し、産業界が抱える技術的課題・ニーズに対して最適解を提供します。
4. ISITはスタートアップを志す人の良きパートナーとなります。
5. ISITは福岡市をはじめとする各地域で市民とともに地方創生の実現を目指します。

（注1）当日配布ISITビジョン

3. ISIT設立20周年記念セミナー 記念講演

『これからのISITへの期待』 ISIT 研究顧問・有川節夫氏（九州大学名誉教授/前総長）

「創立20周年という節目の年にISITのこれまでの活動の現状を踏まえ、その延長線上にあるものを含めて研究所の発展の方向性についていくつかの提言を試みたい」との趣旨で、以下の8項目の提言を頂きました。

ISITでは、この貴重な提言を受け、自分たちの活動の可能性に向けて今後の取組課題の策定の検討を始めました。そして、どこに重点を置き、どのような優先順位で取組んでいくか、所員全員で考えていきます。目下、④及び⑦について、提言を踏まえて現在の活動をより具体化し、さらなる新プランの企画を進めることを検討しています。



有川研究顧問の講演の様子

有川氏の提言

- ① 地元（福岡市や同市民）にとって頼りと誇りになる（存在感のある）研究所となるための具体的な取組を第一人称で列記してみる。
- ② 研究の分野とテーマは今までのままでいいのか？
一つのテーマの継続期間は妥当か？継続的に取り組むべきテーマの継続期間は妥当か？継続的に取り組むべきテーマに対する覚悟は十分か？
- ③ 更に有機的・機動的、積極的に幅広い九大との連携を考えてみる。
- ④ 事業部門を持つ～地元のキャリア豊かな人材の新たな活躍の場を用意し、彼らと連携してコンサルタントやシンクタンクの事業を立ち上げる。
- ⑤ 地方創生の流れなど国や行政の施策にタイムリーに対応できる目利き力と機動力を持つ。
- ⑥ オープンサイエンス、シチズンサイエンスへの目線で自分たちの活動の伸び代を探る。
- ⑦ 九大一理研一福岡市（ISIT）の包括協定の中で連の実質化に率先して取り組む。
- ⑧ 規模を大幅に拡大して世界的話題性を持つ研究所としての飛躍を考える。

4. 連携セミナー基調講演「理研・科学力展開プランについて」 理化学研究所理事 松本 洋一郎氏

理化学研究所・九州大学・福岡市・ISITとの連携セミナーの基調講演として、理化学研究所松本理事より「理研・科学力展開プランについて」の講演が行われました。講演では、まず第3期中期目標（H25～H29）における理研の使命を述べられた後、時折こぼれ話を交えて、理化学研究所の歴史・組織について述べられました。また、理化学研究所各分野の具体的な研究紹介も行われました。更に理研の基礎研究と企業の技術開発を結びつけるパートナーとしての融合的連携研究チームの活動の紹介や理研ベンチャーの事業例の紹介がありました。

4月より国立研究開発法人への移行に伴う役割の変化や国から求められる成果への期待等について説明されました。また、日本の大学の評価が世界的に低いのは、研究者の情報発信が少ないからではないかと述べられ、理研は科学技術ハブとして、大学の研究者と共同して研究成果を発信していきたいと述べられました。

最後に理研は地域を代表する研究機関・大学と連携を模索している中、九州大学、ISITとの連携には期待するものがあると締めくくられました。



理研 松本理事の講演の様子

5. 連携セミナー パネルディスカッション

続いて、連携セミナーパネルディスカッションの部では、理化学研究所グローバル研究クラスターの玉尾クラスタ長、九州大学大学院工学研究院の山田教授、福岡市創業・立地推進部の駒田部長が、それぞれの所属機関と先端科学技術について意見を交えました。

セミナー全体の時間が超過する中、進行役である当研究所の村上副所長が、参加者それぞれの立場からのISITへの期待について意見を求めました。時間が迫る中でのパネルディスカッションではありましたが、直前に行われた連携セミナー基調講演の松本理事が「昔は理研、今は大学の方が自由な研究環境にある」との発言を受け、九州大学の山田教授が、大学も法人化後は、自由に研究できるほど楽ではないと、半ば冗談で反論する場面もありました。また、限られた時間ではありましたが、参加者からの意見や質問も頂戴することもできました。



パネルディスカッションの様子(左より村上副所長、玉尾クラスタ長、山田教授、駒田部長)

6. ポスターセッション

20周年記念セミナーと並行し、SRPホールの講演会場横では当研究所内の、各研究室の研究を紹介するパネル展示等のポスターセッションも行いました。セミナーの休憩時間にはセミナー参加者が熱心にISITの研究員に質問する場面も見られました。

また、研究開発表彰を受けた企業もパネルや試作品を展示しており、来訪者に自社製品をアピールしていました。



7. 交流会

セミナー終了後は交流会が開催され、多くの参加者がそのまま合流しました。理化学研究所の松本理事及び玉尾クラスタ長にも途中までご参加頂き、セミナー参加者や登壇者と意見交換や歓談を行いました。ISITからも理事長、研究所長を始め、各研究室長、研究員も加わり、交流を深めることができました。

また、元研究所長を始めISITのOBも多数参加されており、懐かしい顔ぶれとの再会に歓談は盛り上がっていました。



交流会の様子

ジョイントセミナー開催

平成27年10月・12月

平成27年10月15日

ISITは、(公財)福岡県産業・科学技術振興財団(ふくおかIST)、(公財)北九州産業学術推進機構(FAIS)との連携の一環としてモノづくりフェア2015に於いて、Joint IFF 合同セミナーを開催しました。(場所:マリンメッセ福岡 セミナー会場B/参加者:71名)

セミナーでは、地域産業に対する金融支援取組の成果報告及び知的財産に関する支援の仕組みについての講演の他、Joint IFF 設立意義の説明などの充実した内容は、参加者から高い評価を頂きました。



平成27年12月9日

ISITは、「ちいむ百(もも)の糸」として、「22世紀社会に向けた数学の貢献」と題した第4回ジョイントセミナーを開催致しました。「ちいむ百の糸」は、ISITの他、(公財)福岡県産業・科学技術振興財団(ふくおかIST)、(株)産学連携機構九州(九大



TLO)、(公財)九州大学学術研究都市推進機構(OPACK)、九州大学学術研究・産学連携本部(AiRIMaQ)を構成機関としています。Joint IFFが設立母体を意識した広域の地域連携であるのに対して、ちいむ百の糸は九州大学を軸とした伊都と百道浜という2拠点間の連携です。

講演では、産業・社会の課題解決における数学の役割を説明されました。数学を活用することにより、中身が豊かで深くなれば投資家を動かすダイナミズムさえ生まれるなど示唆に富む内容で、参加者92名を魅了しました。



各種セミナー開催

平成27年12月

平成27年12月15日

ISITは「大学向けクラウドソリューションセミナー in九州」を開催しました。当日は大学関係者を中心に48名の参加者がありました。

平成27年12月18日

ISITは、福岡モーターショー2015のイベント参加として、「ISIT第17回カーエレクトロニクス研究会」を開催しました。参加者は外部参加者が94名と大変好評でした。

ご来訪の皆様

平成27年10月13日

フィデル・カストロ キューバ国家評議会科学顧問のFiaS視察

キューバ共和国・国家評議会科学顧問のフィデル・カストロ・ディアスバラルト博士がFiaSをご訪問されました。新海研究所長（FiaS名誉センター長）より、ISITと福岡市産学連携交流センター（FiaS）の活動や取り組みについて紹介した後、ISITナノテク研究室・有機光デバイス研究室、FiaS分析機器室などを視察されました。博士はキューバ国内に産学連携の施設を新たに建設する計画をもたれており、FiaSの建物、運営方法、分析機器の性能や価格に大変興味を示されていました。



フィデル・カストロ氏とISIT新海研究所長

平成27年11月26日

イタリアトリノよりMESAP(Mechanics and Systems for Advanced Production Innovation Cluster)よりPaolo Dondoテクニカルプロジェクトマネージャが来所されました。日伊経済連合会のDaniele Di Santo会長及びIvano Canteri理事、吉村事務局長も同行されました。



Paolo Dondo氏一行



カナダ大使館ご一行

また、この日は、在日カナダ大使館より、Chris Anderson一等書記官も来所され今後の交流について意見交換しました。Anderson一等書記官には、同大使館の清水商務官及びカナダ政府西日本通商事務所の藤井代表が同行されました。

賛助会員《法人》ご紹介 ~ご入会ありがとうございました~

■大盛工業株式会社 様

福岡県糟屋郡篠栗町乙犬 1053-1

TEL : 092-948-3355

FAX : 092-948-3360

賛助会員募集

ISITでは、賛助会員の募集を行っています。

会員特典
1

ISITが主催する
各種セミナーの
参加料が無料

会員特典
2

ISITが行う技術
コンサルティングが
割引料金

会員特典
3

ISITが発行する
刊行物の配布

会員特典
4

ISITが保管する
IT、ナノテク
関係資料閲覧等

詳細はこちらまで! ISIT 総務広報部

Tel092-852-3450・Fax092-852-3455

E-mail koryu@isit.or.jp

ISITでは、定期交流会や各種セミナーの情報などを配信しております。
メールマガジンのお申し込みはホームページからお手続きいただけます。

<http://www.isit.or.jp/about/publication/mailmagazine/>

発行

公益財団法人 九州先端科学技術研究所 ISIT
Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies
〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1-22

〈福岡SRPセンタービル(ももちキューブ)7F〉

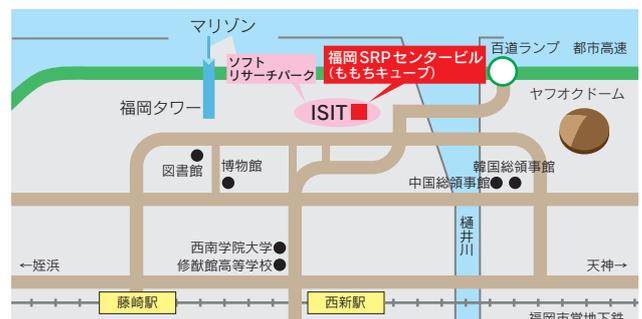
Fukuoka SRP Center Building (Momochi Cube) 7F

2-1-22, Momochihama, Sawara-ku, Fukuoka City 814-0001

●TEL 092-852-3450 ●FAX 092-852-3455

●URL: <http://www.isit.or.jp> ●E-mail: koryu@isit.or.jp

●制作: 株式会社西日本高速印刷



九州の科学技術をリードする
研究拠点として



ISIT

公益財団法人

九州先端科学技術研究所(ISIT)

賛助会員のご案内

お問い合わせ、入会手続きは、
ISIT総務広報部まで
(isit-soumukouhou@isit.or.jp)

● 賛助会員の特典

1. ISITが主催する定期交流会、技術セミナー等に無料で参加できます。
2. ISITが行う先端科学技術（システム情報技術、ナノテクノロジーなど）に関する技術コンサルティングを割引料金で利用できます。
3. ISITが発行する広報誌「What IS IT?」（年4回）や活動報告書等の刊行物の配布が受けられます。
4. ISITが保管する先端科学技術（システム情報技術、ナノテクノロジーなど）関係資料等の閲覧ができます。
5. ISITコミュニティスペースや会議室で賛助会員限定の設備・備品が利用できます。

● 賛助会費（年会費） 法人会員：10 6万円、個人会員：10 1万円

賛助会員ご加入について

公益財団法人九州先端科学技術研究所（以下「ISIT」という。）の事業目的に賛同していただける方（団体、企業、個人等）に賛助会員としてご加入いただいています。

1 賛助会員の特典

- ① ISITが主催する定期交流会、技術セミナー等に無料で参加できます。
- ② ISITが行う先端科学技術（システム情報技術、ナノテクノロジーなど）に関する技術コンサルティングを割引料金で利用できます。
- ③ ISITが発行する広報誌「What IS IT?」（季刊＝年4回）や活動報告書（年次）等の刊行物の配布が受けられます。
- ④ ISITが保管する先端科学技術（システム情報技術、ナノテクノロジーなど）関係資料等の閲覧ができます。
- ⑤ ISITコミュニティスペースや会議室で賛助会員限定の設備・備品が利用できます。

2 賛助会費

年会費は、法人会員1口6万円、個人会員1口1万円とし、毎年度1口以上納入していただくことになります。

ただし、加入時期が年度後半の場合は、当該年度の賛助会費は半額となります。

3 賛助会員資格

当該年度とし、以後、退会の申し出がない場合は自動的に継続します。

4 入会の手続き

賛助会員入会申込書(様式第1号)に必要事項をご記入の上、下記の宛先にお申し込みください。(申込書は郵送にてお願いします。)

なお、登録事項に変更が発生した場合は、賛助会員変更届(様式第2号)によりお届けください。

【入会申込先・お問合せ先】

公益財団法人九州先端科学技術研究所 総務広報部
〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1番22号
福岡SRPセンタービル7階
Tel 092-852-3450 Fax 092-852-3455
E-mail: isit-soumukouhou@isit.or.jp

【賛助会費振込】

賛助会費は、専用の「振込依頼書」にてお振り込みをお願いします。

「振込依頼書」をお持ちでない場合は、郵送しますのでご連絡ください。

(参考)

研究所のホームページ <http://www.isit.or.jp/>

賛助会員のページ <http://www.isit.or.jp/about/supporter/>

(平成27年4月)

様式第1号

賛助会員入会申込書

公益財団法人九州先端科学技術研究所 御中

貴研究所の事業目的に賛同し、賛助会員として入会を申し込みます。

平成 年 月 日

ふりがな			
氏名又は団体名			印
団体の場合 代表者氏名			
住所	〒		
電話番号		FAX番号	
担当部・課名			
担当者名		電話番号	
申込口数	1. 法人 <input type="checkbox"/>		2. 個人 <input type="checkbox"/>
賛助会費振込先	1. 福岡銀行(西新町支店)普通 1791051 2. 西日本シティ銀行(シーサイドももち出張所)普通 0133919		
担当者 メールアドレス	定期交流会等のご案内を差し上げますので必ずご記入ください。		
Web ページ URL	http:// _____ 貴研究所の賛助会員ページに上記ページをリンクすることに 1. 同意します 2. 同意しません		

※お願い 氏名又は団体名は正式名称をご記入下さい。